



## デバイス、モニタ タイプ、およびアトリビュート

この章は次の項で構成されています。

- 「デバイスと関連モニタ タイプ」(P.A-1)
- 「Service Monitor のデータベース モニタ タイプ」(P.A-2)
- 「Operations Manager のファイルベース モニタ タイプ」(P.A-9)

### デバイスと関連モニタ タイプ

Service Statistics Manager は、管理対象要素（表 A-1 に示すデバイスとアプリケーション）に関するデータを収集します。表 A-1 には、それぞれの管理対象要素に関連付けられたモニタ タイプも含まれています。モニタ タイプは、管理対象要素に関して収集するアトリビュート（またはデータ タイプ）のセットを定義します。

表 A-1 デバイスと関連モニタ タイプ

管理対象要素	関連モニタ タイプ
<b>Service Monitor<sup>1</sup></b>	
Cisco Unified Communications Manager クラスタ (このマニュアルでは、コール クラスタとも呼ばれています)	<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">Call Volume</a></li><li>• <a href="#">Call Quality</a></li></ul>
Cisco 1040 センサー	<a href="#">Call Quality by Sensor</a>
Cisco NAM	<a href="#">Call Quality by NAM</a>
<b>Operations Manager<sup>2</sup></b>	
Cisco Unified Communications Manager	<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">System Utilization for Unified CM</a></li><li>• <a href="#">Unified CM Performance</a></li></ul>
Cisco Unified Communications Manager Express	<a href="#">CME Performance</a>
Cisco Unified Contact Center Express	<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">Unified CCE Performance</a></li><li>• <a href="#">System Utilization for Unified CCE</a></li></ul>
Cisco Unity Express (CUE)	<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">CUE Performance</a></li><li>• <a href="#">System Utilization for IOS Router</a></li></ul>
Cisco Unity (Unity)	<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">System Utilization for Unity</a></li></ul>

表 A-1 デバイスと関連モニタ タイプ (続き)

管理対象要素	関連モニタ タイプ
Cisco Unity Connection (Unity Connection)	<ul style="list-style-type: none"> <li>System Utilization for Unity Connection</li> </ul>
音声ゲートウェイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>Gateway Utilization</li> <li>Gatekeeper Performance</li> <li>System Utilization for IOS Router</li> <li>Trunk Utilization</li> </ul>

1. Service Monitor は、Unified Communications Manager Call Detail Record (CDR; 呼詳細レコード) とセンサー (Cisco 1040 と NAM) からデータを取得して、データベースに保存します。
2. Operations Manager は、デバイスに関する Perfmon カウンタから一部のデータを取得して、CSV ファイルに保存します。また、SNMP MIB からもデータを取得して、データベースに保存します。



(注)

Service Statistics Manager は、Operations Manager システム上のノード間テスト ファイルからデータを収集することもできます。Operations Manager は、ノード間テストのデータを CSV ファイルに保存します。詳細については、「ノード間テスト ファイルベース モニタ タイプとアトリビュート」(P.A-16) を参照してください。

モニタ タイプごとに収集可能な統計データについては、次の項を参照してください。

- 「Service Monitor のデータベース モニタ タイプ」(P.A-2)
- 「Operations Manager のファイルベース モニタ タイプ」(P.A-9)

## Service Monitor のデータベース モニタ タイプ

Service Monitor のデータの入手先 :

- Unified Communications Manager CDR : 詳細については、「Service Monitor からのデータ収集について」(P.A-3) を参照してください。
- センサーからのコール ストリーム : Cisco 1040 センサーと NAM

Service Monitor がデータをデータベースに保存します。Service Statistics Manager モニタ タイプ (all volume、call quality、および call quality by sensor) が Service Monitor データベースからデータを収集します。各モニタ タイプに関連付けられたアトリビュートについては、次の項を参照してください。

- 「Call Quality モニタ タイプのアトリビュート」(P.A-3)
- 「Call Quality by NAM モニタ タイプのアトリビュート」(P.A-4)
- 「Call Quality by Sensor モニタ タイプのアトリビュート」(P.A-4)
- 「Call Volume モニタ タイプのアトリビュート」(P.A-5)

## Service Monitor からのデータ収集について

Service Statistics Manager は、Unified Communications Manager と音声ゲートウェイに関するコール関連データを Service Monitor から収集します。ただし、次の条件を満たしている必要があります。

- Service Monitor :
  - Operations Manager に追加されている (Service Statistics Manager は、自動検出中に、Operations Manager に登録された Service Monitor を検索します)。
  - Unified Communications Manager クレデンシャルを使用して設定されている。
- Unified Communications Manager または音声ゲートウェイが、Operations Manager インベントリに含まれている。

## Call Quality モニタタイプのアトリビュート

Service Statistics Manager は、次をサポートするコール品質モニタを提供します。

- Service Monitor が次のセンサーから取得したセンサーベース データ
  - NAM : 詳細については、「[Call Quality by NAM モニタタイプのアトリビュート](#)」(P.A-4) を参照してください。
  - Cisco 1040 : 詳細については、「[Call Quality by Sensor モニタタイプのアトリビュート](#)」(P.A-4) を参照してください。
- Service Monitor が Unified Communications Manager CDR から取得するクラスタベース データ。  
表 A-2 に、クラスタベース コール品質モニタでサポートされているデータを示します。



(注)

Service Statistics Manager は、最高、良好、通常、および低品質コールに関するデフォルト定義を提供します。これらの定義は変更できます。詳細については、「[コール品質の設定](#)」(P.7-9) を参照してください。

表 A-2 Call Quality モニタタイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Number of Acceptable Calls	#	直近のポーリング期間中の良好コール数
Number of Calls NA	#	MOS で使用できなかったコール数。この現象は、Unified Communications Manager のソフトウェアバージョンまたはエンドポイントが K 係数アルゴリズムをサポートしていない場合に発生する可能性があります。詳細については、『 <a href="#">Cisco Unified Service Monitor Compatibility Matrix 2.3</a> 』を参照してください。
Number of Fair Calls	#	直近のポーリング期間中の通常コール数
Number of Good Calls	#	直近のポーリング期間中の最高コール数
Number of Poor Calls	#	直近のポーリング期間中の低品質コール数
Number of Short Duration Calls	#	短すぎて MOS が計算できなかったコール数
Total Number of Calls	#	直近のポーリング期間中の総コール数  (注) 総コール数は、良好、通常、最高、および低品質コールの合計を上回る可能性があります。MOS が計算されなかったコールが総コール数に含まれています。

1. 各単位のデータ型は整数です。

## Call Quality by NAM モニタ タイプのアトリビュート

Service Statistics Manager は、次をサポートするコール品質モニタを提供します。

- Service Monitor が Unified Communications Manager CDR から取得するクラスタベース データ。詳細については、「[Call Quality モニタ タイプのアトリビュート](#)」(P.A-3) を参照してください。
- Service Monitor が NAM と Cisco 1040 センサーから取得するセンサーベース データ。表 A-3 に、Call Quality by NAM モニタ タイプでサポートされるデータを示します。Call Quality by Sensor モニタ タイプでサポートされるデータについては、表 A-4 を参照してください。



(注)

- センサーベース データは、コールを反映していませんが、60 秒 RTP ストリームであるコール ストリームを反映しています。
- Service Statistics Manager は、最高、良好、通常、および低品質コール ストリームに関するデフォルト定義を提供します。これらの定義は変更できます。詳細については、「[コール品質の設定](#)」(P.7-9) を参照してください。

表 A-3 Call Quality by NAM モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Number of Acceptable Call Streams	#	直近のポーリング期間中の良好コール ストリーム数
Number of Fair Call Streams	#	直近のポーリング期間中の通常コール ストリーム数
Number of Good Call Streams	#	直近のポーリング期間中の最高コール ストリーム数
Number of Poor Call Streams	#	直近のポーリング期間中の低品質コール ストリーム数
Total Number of Call Streams	#	直近のポーリング期間中の総コール ストリーム数  (注) 総コール ストリーム数は、良好、通常、最高、および低品質コールの合計を上回る可能性があります。MOS が計算されなかったコール ストリームが総コール ストリーム数に含まれています。

1. 各単位のデータ型は整数です。

## Call Quality by Sensor モニタ タイプのアトリビュート

Service Statistics Manager は、次をサポートするコール品質モニタを提供します。

- Service Monitor が Unified Communications Manager CDR から取得するクラスタベース データ。詳細については、「[Call Quality モニタ タイプのアトリビュート](#)」(P.A-3) を参照してください。
- Service Monitor が NAM と Cisco 1040 センサーと NAM から取得するセンサーベース データ。表 A-4 に、Call Quality by Sensor モニタ タイプでサポートされるデータを示します。Call Quality by NAM モニタ タイプでサポートされるデータについては、表 A-3 を参照してください。



- (注)
- センサーベース データは、コールを反映していませんが、60 秒 RTP ストリームであるコール ストリームを反映しています。
  - Service Statistics Manager は、最高、良好、通常、および低品質コール ストリームに関するデフォルト定義を提供します。これらの定義は変更できます。詳細については、「[コール品質の設定](#)」(P.7-9) を参照してください。

表 A-4 Call Quality by Sensor モニタタイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Number of Acceptable Call Streams	#	直近のポーリング期間中の良好コール ストリーム数
Number of Fair Call Streams	#	直近のポーリング期間中の通常コール ストリーム数
Number of Good Call Streams	#	直近のポーリング期間中の最高コール ストリーム数
Number of Poor Call Streams	#	直近のポーリング期間中の低品質コール ストリーム数
Total Number of Call Streams	#	直近のポーリング期間中の総コール ストリーム数  (注) 総コール ストリーム数は、良好、通常、最高、および低品質コールの合計を上回る可能性があります。MOS が計算されなかったコール ストリームが総コール ストリーム数に含まれています。

1. 各単位のデータ型は整数です。

## Call Volume モニタタイプのアトリビュート

表 A-5 に、Call Volume モニタでサポートされるデータを示します。Service Monitor は、このデータを Unified Communications Manager CDR (クラスターベース データ) から取得します。コール カテゴリの場合は、次のアトリビュートが監視されます。

- Number of calls
- Number of completed calls
- Number of failed calls
- Duration of calls
- Average duration per call



- (注) 表 A-5 に示すユーザ定義可能コール カテゴリ (Emergency、International、Local、Long Distance、Service、および Toll Free) に分類すべきコールの場合は、Service Monitor コール分類を設定する必要があります。詳細については、『*User Guide for Cisco Unified Service Monitor 2.3*』を参照してください。

表 A-5 Call Volume モニタタイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
H323 Gateway-Inbound Calls	#	直近のポーリング期間に H323 ゲートウェイを通過したインバウンドコール数
H323 Gateway-Outbound Calls	#	直近のポーリング期間に H323 ゲートウェイを通過したアウトバウンドコール数

表 A-5 Call Volume モニタ タイプのアトリビュート (続き)

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
H323 Trunk Incoming	#	直近のポーリング期間に H323 トランクを通過したインバウンド コール数
H323 Trunk Outgoing	#	直近のポーリング期間に H323 トランクを通過したアウトバウンド コール数
MGCP Gateway-Inbound Calls	#	直近のポーリング期間に MGCP ゲートウェイを通過したインバウンド コール数
MGCP Gateway-Outbound Calls	#	直近のポーリング期間に MGCP ゲートウェイを通過したアウトバウンド コール数
SIP Trunk Incoming	#	直近のポーリング期間に SIP トランクを通過したインバウンド コール数
SIP Trunk Outgoing	#	直近のポーリング期間に SIP トランクを通過したアウトバウンド コール数
<b>集約データ</b>		
All Categories-Average Duration	秒	総コール時間を総コール数で割った商
All Categories-Completion Rate	%	すべてのカテゴリ内の完了コール数をすべてのカテゴリ内のコール数で割った商。パーセントで表されます。
All Categories-Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中の総コール時間
All Categories-Number of Calls	#	直近のポーリング期間中の総コール数
All Categories-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了した総コール数
All Categories-Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗した総コール数
<b>コール カテゴリ : Conference</b>		
Conference-Average Duration	#	会議に接続されていたコール ストリーム時間を会議に接続されていた総コール ストリーム数で割った商
Conference-Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間に会議に接続されていたコール ストリーム時間
Conference-Number of Calls	#	直近のポーリング期間に会議に接続されていたコール ストリーム数
Conference-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間に会議に接続されていた完了したコール ストリーム数
Conference-Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間に会議コールへの接続に失敗したコール ストリーム数
<b>コール カテゴリ : Emergency</b>		
Emergency-Average Duration	#	緊急コール時間を緊急コール数で割った商
Emergency-Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中の緊急コール時間
Emergency-Number of Calls	#	直近のポーリング期間中の緊急コール数
Emergency-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了した緊急コール数
Emergency-Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗した緊急コール数
<b>コール カテゴリ : ICT</b>		
ICT-Average Duration	#	クラスタ間トランク コール時間をクラスタ間トランク コール数で割った商
ICT-Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中のクラスタ間トランク コール時間
ICT-Number of Calls	#	直近のポーリング期間中のクラスタ間トランク コール数
ICT-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了したクラスタ間トランク コール数
ICT-Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗したクラスタ間トランク コール数

表 A-5 Call Volume モニタ タイプのアトリビュート (続き)

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
<b>コール カテゴリ : Internal</b>		
Internal–Average Duration	#	内線コール時間を内線コール数で割った商
Internal–Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中の内線コール時間
Internal–Number of Calls	#	直近のポーリング期間中の内線コール数
Internal–Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了した内線コール数
Internal–Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗した内線コール数
<b>コール カテゴリ : International</b>		
International–Average Duration	#	国際コール時間を国際コール数で割った商
International–Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中の国際コール時間
International–Number of Calls	#	直近のポーリング期間中の国際コール数
International–Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了した国際コール数
International–Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗した国際コール数
<b>コール カテゴリ : Local</b>		
Local–Average Duration	#	市内コール時間を市内コール数で割った商
Local–Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中の市内コール時間
Local–Number of Calls	#	直近のポーリング期間中の市内コール数
Local–Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了した市内コール数
Local–Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗した市内コール数
<b>コール カテゴリ : Long Distance</b>		
Long Distance–Average Duration	#	長距離コール時間を長距離コールで割った商
Long Distance–Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中の長距離コール時間
Long Distance–Number of Calls	#	直近のポーリング期間中の長距離コール数
Long Distance–Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了した長距離コール数
Long Distance–Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗した長距離コール数
<b>コール カテゴリ : OnNet Trunk</b>		
OnNet Trunk–Average Duration	#	オンネット トランク コール時間をオンネット トランク コール数で割った商
OnNet Trunk–Duration of Calls	#	直近のポーリング期間中のオンネット トランク コール時間
OnNet Trunk–Number of Calls	#	直近のポーリング期間中のオンネット トランク コール数
OnNet Trunk–Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了したオンネット コール数
OnNet Trunk–Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗したオンネット コール数
<b>コール カテゴリ : Service</b>		
Service–Average Duration	#	サービス コール時間をサービス コール数で割った商
Service–Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中のサービス コール時間

表 A-5 Call Volume モニタ タイプのアトリビュート (続き)

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Service-Number of Calls	#	直近のポーリング期間中のサービス コール数
Service-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了したサービス コール数
Service-Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗したサービス コール数
<b>コール カテゴリ : Tandem</b>		
Tandem-Average Duration	#	タンデム コール時間をタンデム コール数で割った商
Tandem-Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中のタンデム コール時間
Tandem-Number of Calls	#	直近のポーリング期間中のタンデム コール数
Tandem-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了したタンデム コール数
Tandem-Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗したタンデム コール数
<b>コール カテゴリ : Toll Free</b>		
Toll Free-Average Duration	#	フリーダイヤル コール時間をフリーダイヤル コール数で割った商
Toll Free-Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中のフリーダイヤル コール時間
Toll Free-Number of Calls	#	直近のポーリング期間中のフリーダイヤル コール数
Toll Free-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了したフリーダイヤル コール数
Toll Free-Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗したフリーダイヤル コール数
<b>コール カテゴリ : Unknown</b>		
Unknown-Average Duration	#	不明コール時間を不明コール数で割った商
Unknown-Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中の不明コール時間
Unknown-Number of Calls	#	直近のポーリング期間中の不明コール数
Unknown-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了した不明コール数
Unknown-Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗した不明コール数
<b>コール カテゴリ : VG/Trunk-Incoming</b>		
VG/Trunk-Incoming-Average Duration	#	音声ゲートウェイ/トランク着信コール時間を音声ゲートウェイ/トランク着信コール数で割った商
VG/Trunk-Incoming-Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中の音声ゲートウェイ/トランク着信コール時間
VG/Trunk-Incoming-Number of Calls	#	直近のポーリング期間中の音声ゲートウェイ/トランク着信コール数
VG/Trunk-Incoming-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了した音声ゲートウェイ/トランク着信コール数
VG/Trunk-Incoming Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗した音声ゲートウェイ/トランク着信コール数
<b>コール カテゴリ : VG/Trunk-Outgoing</b>		
VG/Trunk-Outgoing-Average Duration	#	音声ゲートウェイ/トランク発信コール時間を音声ゲートウェイ/トランク発信コール数で割った商
VG/Trunk-Outgoing-Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中の音声ゲートウェイ/トランク発信コール時間



表 A-5 Call Volume モニタ タイプのアトリビュート (続き)

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
VG/Trunk-Outgoing-Number of Calls	#	直近のポーリング期間中の音声ゲートウェイ/トランク発信コール数
VG/Trunk-Outgoing-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了した音声ゲートウェイ/トランク発信コール数
VG/Trunk-Outgoing Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗した音声ゲートウェイ/トランク発信コール数
<b>コール カテゴリ : Voicemail</b>		
Voicemail-Average Duration	#	ボイスメール コール時間をボイスメール コール数で割った商
Voicemail-Duration of Calls	秒	直近のポーリング期間中のボイスメール コール時間
Voicemail-Number of Calls	#	直近のポーリング期間中のボイスメール コール数
Voicemail-Number of Completed Calls	#	直近のポーリング期間中に完了したボイスメール コール数
Voicemail-Number of Failed Calls	#	直近のポーリング期間中に失敗したボイスメール コール数

1. 各単位のデータ型は整数です。

## Operations Manager のファイルベース モニタ タイプ

ファイルベース モニタは、次の Operations Manager ファイルからデータを収集します。

- パフォーマンス ポーリング ファイル：デフォルトで、Operations Manager のポーリング インターバルは約 4 分に設定されています。Operations Manager の Service Statistics Manager 30 分ポーリング インターバル中に、Operations Manager はパフォーマンス データを収集して、パフォーマンス ポーリング ファイルを 7 ~ 8 回生成します。



**(注)** Operations Manager ポーリング インターバルは、ユーザ設定可能なため、変更される可能性があります。

詳細については、『*User Guide for Cisco Unified Operations Manager 2.3*』の「Configuring Polling and Thresholds」を参照してください。

- ノード間テスト ファイル：ノード間テストは、ユーザ設定可能なスケジュールに基づいて実行されます。ノード間テストとそのスケジュールによって、Service Statistics Manager 30 分ポーリング インターバル中に、Operations Manager が生成できるテスト ファイル数が異なります。



**(注)** デフォルトで、Operations Manager で定義されたノード間テストは存在しません。

詳細については、『*User Guide for Cisco Unified Operations Manager*』の「Using Node-to-Node Tests」を参照してください。

各モニタ タイプでサポートされるデータについては、次の項を参照してください。

- パフォーマンス ポーリング ファイルベース モニタ：
  - 「Unified CME Performance モニタ タイプのアトリビュート」(P.A-10)

- 「CUE Performance モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-10)
- 「Gatekeeper Performance モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-11)
- 「Gateway Utilization モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-11)
- 「System Utilization for IOS Router モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-12)
- 「System Utilization for Unified CCE モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-13)
- 「System Utilization for Unified CM モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-13)
- 「System Utilization for Unity モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-13)
- 「System Utilization for Unity Connection モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-14)
- 「Trunk Utilization モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-14)
- 「Unified CCE Performance モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-15)
- 「Unified CM Performance モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-15)
- 「ノード間テスト ファイルベース モニタ タイプとアトリビュート」 (P.A-16)

## Unified CME Performance モニタ タイプのアトリビュート

CME Performance モニタ タイプは、Operations Manager から Cisco Unified Communications Manager Express データを収集します。

表 A-6 Unified CME Performance モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位	説明
% Ephones Registered	%	登録された ephone の割合
% Key Ephones Registered	%	登録された設定済みのキー ephone の割合
Active Call Legs	#	アクティブな ephone コール レッグ数
Configured Key Ephones	#	設定されたキー ephone 数
Ephones Seen	#	設定された最大セッション数
Max Ephones	#	Cisco Unified Communications Manager Express 上で設定可能な最大 ephone 数
Registered Ephones	#	登録された ephone 数
Registered Key Ephones	#	登録されたキー ephone 数

## CUE Performance モニタ タイプのアトリビュート

CUE Performance モニタ タイプは、Operations Manager からデータを収集します。Operations Manager は、Unified Communications Manager サーバ上の Perfmon カウンタからデータを取得します。

表 A-7 CUE Performance モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Allocated Capacity	#	メールボックスに割り当てられたストレージの累積分数
Capacity of Voicemail	#	ライセンスで許可されたストレージの分数
Free Capacity	#	使用可能なストレージの分数

表 A-7 CUE Performance モニタタイプのアトリビュート (続き)

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Licensed Mailboxes	#	ライセンスで許可された最大メールボックス数
Mailboxes that Are 90% full	#	90% 以上消費されたメールボックス数
Orphaned Mailboxes	%	孤立しているライセンスされたメールボックスの割合
Orphaned Mailboxes	#	孤立しているメールボックス数
Session Utilization	%	使用中の最大セッション数の割合
Storage Capacity Utilization	%	使用中のストレージの割合

1. 各単位のデータ型は整数です。

## Gatekeeper Performance モニタタイプのアトリビュート

Gatekeeper Performance モニタタイプは、Operations Manager からデータを収集します。Operations Manager は、Unified Communications Manager サーバ上の Perfmon カウンタからデータを取得します。

表 A-8 Gatekeeper Performance モニタタイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Admission Confirmations for Local Zone	#	参加確認の累積数
Admission Rejections for Local Zone	#	参加拒否の累積数
Interzone Bandwidth Utilization	%	ゾーン間の帯域利用率
Local Zone Bandwidth Utilization	%	帯域利用率

1. 各単位のデータ型は整数です。

## Gateway Utilization モニタタイプのアトリビュート

Gateway Utilization モニタタイプは、Unified Communications Manager に登録された H323 ゲートウェイと MGCP ゲートウェイの Operations Manager から、ポート使用率を収集します。Operations Manager は、Unified Communications Manager の Perfmon カウンタからデータを取得します。

表 A-9 Gateway Utilization モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	各ゲートウェイ タイプでサポートされるポート		説明
		H323	MGCP	
BRI Utilization	%	X	X	ゲートウェイ上のすべての設定済み BRI のうち、アクティブなもの割合
Call Count	#	X	X	<ul style="list-style-type: none"> <li>H.323 ゲートウェイの場合： ゲートウェイ上の T1 CAS、E1 CAS、T1 PRI、E1 PRI、および BRI ポートごとの音声活動を示す総チャンネル数。Service Statistics Manager は、ポーリングを開始する前の 30 分間に Operations Manager が書き込んだ（ポーリング期間当たり、ゲートウェイ当たり、およびポート当たり 1 つずつの）最新レコードを使用します。</li> <li>MGCP ゲートウェイの場合： ゲートウェイ上の T1 CAS、T1 PRI、E1 PRI、FXS、および FXO ポート上で完了したコールの累積数。Service Statistics Manager は、ポーリングを開始する前の 30 分間に Operations Manager が書き込んだレコード内のデータを使用します。</li> </ul>
E1 CAS Utilization	%	X	X	ゲートウェイ上のすべての設定済み E1 CAS のうち、アクティブなもの割合
E1 PRI Utilization	%	X	—	ゲートウェイ上のすべての設定済み E1 PRI のうち、アクティブなもの割合
E and M Utilization	%	X	—	ゲートウェイ上のすべての設定済み E&M のうち、アクティブなもの割合
FXO Utilization	%	X	X	ゲートウェイ上のすべての設定済み FXO のうち、アクティブなもの割合
FXS Utilization	%	X	X	ゲートウェイ上のすべての設定済み FXS のうち、アクティブなもの割合
T1 CAS Utilization	%	X	X	ゲートウェイ上のすべての設定済み T1 CAS のうち、アクティブなもの割合
T1 PRI Utilization	%	X	X	ゲートウェイ上のすべての設定済み T1 PRI のうち、アクティブなもの割合

1. 各単位のデータ型は整数です。

## System Utilization for IOS Router モニタ タイプのアトリビュート

System Utilization for IOS Router モニタ タイプは、H.323 ゲートウェイ、Cisco Unified Border Element (UBE) ゲートキーパー、Unified Communications Manager Express、Cisco Unity Express、および SRST 対応ルータなどの音声ゲートウェイの Operations Manager からシステム使用率データを収集します。

表 A-10 System Utilization for IOS Router モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Available Memory	MB	プロセッサ空きメモリ (MB 単位)
CPU Utilization	%	すべての CPU の合算 CPU 使用率
System Memory Utilization	%	メモリの使用率
Total Memory	MB	プロセッサ使用メモリとプロセッサ空きメモリの合計 (MB 単位)

1. 各単位のデータ型は整数です。

## System Utilization for Unified CCE モニタ タイプのアトリビュート

System Utilization for Unified CCE モニタ タイプは、Cisco Unified Contact Center の Operations Manager からシステム使用率データを収集します。

表 A-11 System Utilization for Unified CCE モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Available Memory	MB	RAM の使用可能容量 (MB 単位)
CPU Utilization	%	すべての CPU の合算 CPU 使用率
System Memory Utilization	%	RAM の使用率
Total Memory	MB	RAM の合計容量 (MB 単位)

1. 各単位のデータ型は整数です。

## System Utilization for Unified CM モニタ タイプのアトリビュート

System Utilization for Unified CM モニタ タイプは、Unified Communications Manager の Operations Manager からシステム使用率データを収集します。Operations Manager は、Unified Communications Manager サーバ上の Perfmon カウンタからデータを取得します。

表 A-12 System Utilization for Unified CM モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Available Memory	MB	RAM の使用可能容量 (MB 単位)
CPU Utilization	%	すべての CPU の合算 CPU 使用率
System Memory Utilization	%	RAM の使用率
Total Memory	MB	RAM の合計容量 (MB 単位)

1. 各単位のデータ型は整数です。

## System Utilization for Unity モニタ タイプのアトリビュート

System Utilization for Unity モニタ タイプは、Cisco Unity の Operations Manager からシステム使用率データを収集します。

表 A-13 System Utilization for Unity モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Available Memory	MB	RAM の使用可能容量 (MB 単位)
CPU Utilization	%	すべての CPU の合算 CPU 使用率
System Memory Utilization	%	RAM の使用率
Total Memory	MB	RAM の合計容量 (MB 単位)

1. 各単位のデータ型は整数です。

## System Utilization for Unity Connection モニタ タイプのアトリビュート

System Utilization for Unity Connection モニタ タイプは、Cisco Unity Connection の Operations Manager からシステム使用率データを収集します。

表 A-14 System Utilization for Unity モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Available Memory	MB	RAM の使用可能容量 (MB 単位)
CPU Utilization	%	すべての CPU の合算 CPU 使用率
System Memory Utilization	%	RAM の使用率
Total Memory	MB	RAM の合計容量 (MB 単位)

1. 各単位のデータ型は整数です。

## Trunk Utilization モニタ タイプのアトリビュート

Trunk Utilization モニタ タイプは、Unified Communications Manager に登録された次のゲートウェイの Operations Manager からデータを収集します。

- H.323
- MGCP (次のポート タイプの場合) :
  - FXS
  - FXO
  - T1 PRI
  - E1 PRI
  - T1 CAS

表 A-15 Trunk Utilization モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Call Count	#	ポート上で接続が完了したインバウンド コール数とアウトバウンド コール数。  Service Statistics Manager は、ポーリングを開始する前の 30 分間に Operations Manager がポートに対して書き込んだ最新のパフォーマンス ポーリング ファイルからコール カウントを取得します。  詳細については、「Operations Manager のファイルベース モニタ タイプ」(P.A-9) を参照してください。
Outbound Busy Attempts	#	ポート上のアウトバウンド通話中試行回数
Peak Usage	%	Operations Manager が過去 30 分間に書き込んだパフォーマンス ポーリング ファイルで見つかった最高使用率
Utilization	%	すべてのポートまたはチャネルの使用率

1. 各単位のデータ型は整数です。

## Unified CCE Performance モニタ タイプのアトリビュート

Unified CCE Performance モニタ タイプは、Operations Manager からデータを収集します。Operations Manager は、サーバ上の Perfmon カウンタからデータを取得します。

表 A-16 Unified CCE Performance モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Agents Currently Logged In	#	ログイン中のコンタクトセンター エージェント数
Calls in Progress	#	進行中のコール数
Inbound Calls per second	#/秒	1 秒当たりのインバウンド コール数

1. 各単位のデータ型は整数です。

## Unified CM Performance モニタ タイプのアトリビュート

Unified CM Performance モニタ タイプは、Operations Manager からデータを収集します。Operations Manager は、Unified Communications Manager サーバ上の Perfmon カウンタからデータを取得します。

表 A-17 Unified CM Performance モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Active Calls	#	完全に確立され使用された（設定モードおよびティアダウン モードではない）コールの数
Active MTP Resources	%	Unified Communications Manager 上でアクティブな MTP リソースの割合
Active Transcoder Resources	%	Unified Communications Manager 上でアクティブなトランスコーダ リソースの割合
Calls Attempted	#	Unified Communications Manager 上で試行されたコール数
Calls Completed	#	Unified Communications Manager 上で完了したコール数

表 A-17 Unified CM Performance モニタ タイプのアトリビュート (続き)

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Calls in Progress	#	Unified Communications Manager 上で処理中のコール数
CTI Connections	#	Unified Communications Manager 上でアクティブな CTI 接続数
CTI Links Active	#	Unified Communications Manager 上でアクティブな CTI リンク数
CTI Open Devices	#	開いている CTI デバイス数
CTI Open Lines	#	開いている CTI 回線数
E1 PRI Utilization	%	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイの E1 PRI 使用率
FXO Ports Active	#	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイ上でアクティブな FXO ポート数
FXO Ports in Service	#	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイ上で設定された FXO ポート数
FXO Utilization	%	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイの FXO ポート使用率
FXS Ports Active	#	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイ上でアクティブな FXS ポート数
FXS Ports in Service	#	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイ上で設定された FXS ポート数
FXS Utilization	%	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイの FXS ポート使用率
H323 Calls Attempted	#	H323 ゲートウェイ経由で試行されたコール数
H323 Calls Completed	#	H323 ゲートウェイ経由で完了したコール数
H323 Calls In Progress	#	H323 ゲートウェイ経由で処理中のコール数
Hardware Conference Resources Active	%	Unified Communications Manager 上でアクティブなハードウェア会議リソースの割合
Registered Hardware Phones	#	Unified Communications Manager に登録されたハードウェア電話機の台数
Software Conference Resources Active	%	Unified Communications Manager 上でアクティブなソフトウェア会議リソースの割合
T1 CAS Utilization	%	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイの T1 CAS 使用率
T1 PRI Utilization	%	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイの T1 PRI 使用率
T1/E1 PRI Channels Active	#	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイ上でアクティブな PRI チャネル (T1/E1 PRI) 数
T1/E1 PRI Channels in Service	#	Unified Communications Manager 制御 MGCP ゲートウェイ上で設定された PRI チャネル (T1/E1 PRI) 数

1. 各単位のデータ型は整数です。

## ノード間テスト ファイルベース モニタ タイプとアトリビュート

Operations Manager は、ユーザが設定したノード間テストからデータを収集して、Operations Manager サーバ上の CSV ファイルに保存します。ノード間テストのタイプごとに、Service Statistics Manager のモニタ タイプが 1 つずつ存在します。

- 「[IPSLA Data Jitter モニタ タイプのアトリビュート](#)」 (P.A-17)
- 「[IPSLA Gatekeeper Registration Delay モニタ タイプのアトリビュート](#)」 (P.A-17)



- 「IPSLA Ping Echo モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-17)
- 「IPSLA Ping Path Echo モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-17)
- 「IPSLA UDP Echo モニタ タイプのアトリビュート」 (P.A-18)

## IPSLA Data Jitter モニタ タイプのアトリビュート

IPSLA Data Jitter モニタ タイプは、Operations Manager のデータ ジッタ ノード間テストからデータを収集します。Operations Manager は、このデータを CSV ファイルに保存します。

表 A-18 IPSLA Data Jitter モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Average Latency	ミリ秒	平均遅延時間 (ミリ秒単位)
DS Jitter	ミリ秒	宛先から送信元への伝送で発生したジッタ
DS Packet Loss	%	宛先から送信元への伝送でパケット損失が発生した割合
SD Jitter	ミリ秒	送信元から宛先への伝送で発生したジッタ
SD Packet Loss	%	送信元から宛先への伝送でパケット損失が発生した割合

1. 各単位のデータ型は整数です。

## IPSLA Gatekeeper Registration Delay モニタ タイプのアトリビュート

IPSLA Gatekeeper Registration Delay モニタ タイプは、Operations Manager のゲートキーパー登録遅延ノード間テストからデータを収集します。Operations Manager は、このデータを CSV ファイルに保存します。

表 A-19 IPSLA Gatekeeper Registration Delay モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Registration Response Time	ミリ秒	登録の応答時間

1. 各単位のデータ型は整数です。

## IPSLA Ping Echo モニタ タイプのアトリビュート

IPSLA Ping Echo モニタ タイプは、Operations Manager の ping エコー ノード間テストからデータを収集します。Operations Manager は、このデータを CSV ファイルに保存します。

表 A-20 IPSLA Ping Echo モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Round-Trip Response Time	ミリ秒	ラウンドトリップ時間

1. 各単位のデータ型は整数です。

## IPSLA Ping Path Echo モニタ タイプのアトリビュート

IPSLA Ping Path Echo モニタ タイプは、Operations Manager の ping パス エコー ノード間テストからデータを収集します。Operations Manager は、このデータを CSV ファイルに保存します。

## ■ Operations Manager のファイルベース モニタ タイプ

表 A-21 IPSLA Ping Path Echo モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Round-Trip Response Time	ミリ秒	ラウンドトリップ時間

1. 各単位のデータ型は整数です。

## IPSLA UDP Echo モニタ タイプのアトリビュート

IPSLA UDP Echo モニタ タイプは、Operations Manager の UDP エコー ノード間テストからデータを収集します。Operations Manager は、このデータを CSV ファイルに保存します。

表 A-22 IPSLA UDP Echo モニタ タイプのアトリビュート

アトリビュート	単位 <sup>1</sup>	説明
Round-Trip Response Time	ミリ秒	ラウンドトリップ時間

1. 各単位のデータ型は整数です。